

令和5年度 岩手県立大船渡高等（全日制）学校経営計画

校長：熊谷賢児

1 校訓・教育目標		校 訓 『自主獨立』 自分の責任において自分の力と意思で物事を成すこと 教育目標 知・徳・体の調和のとれた人間形成を目指し、社会の変化に主体的に対応できる能力と国際的視野を持った人間の育成を期し、次の目標を定める。 1 真理を求め、自ら主体的に学ぶ姿勢を持つ青年の育成 2 互いに個性を尊重し、敬愛する心を持つ青年の育成 3 心身の調和がとれ、強くたくましい精神力と体力を持つ青年の育成	
2 ス ク ー ル ・ ポ リ シ ー	(1) 育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	1 (「探究力」の育成) 批判的思考力、協働的思考力、創造的思考力を核として、真理を求め、自ら主体的に学ぶ力を育成します。 2 (リーダーとしての資質の育成) 創造的な発想と向上心を持ちながら様々な分野でリーダーシップを発揮できる力を育成します。 3 (「人間力」の育成) 互いに個性を尊重し、協働的な活動ができる豊かな人間力を育成します。	
	(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	1 (主体的な学び) 全教科で、主体的に学ぶ態度や思考力、判断力、表現力、言語能力の育成を重視します。 2 (総合的な探究の時間) 総合的な探究の時間(大船渡学)や課外活動における生徒の模擬授業、外部での活動など、「色々なやりたいことを持った生徒が、色々なことにチャレンジできる学校」として、生徒の可能性を伸ばし、「探究力」の育成と、グローバルな人材育成を重視します。 3 (諸行事と部活動) 学校行事や部活動の中での協働的で文化的な体験を通し、心身の調和が取れ、豊かな人間性を育成します。 4 (情報化社会) 各教室に配備された ICT 機器を活用した活動を重視し、対話する力や、表現力の育成に努めます。	
	(3) 入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	1 (意欲) 自らの生き方を見つめ、夢の実現に向けて努力することが出来る生徒 2 (向上心) 現状に満足せず、常に「より良いこと」に向かう姿勢を持つ生徒 3 (探究心) 「今をより良くするにはどうすれば良いのか」と言う視点で物事を見つめ、「どこをどのように改善すれば良いか」と疑問を持つことができる生徒 4 (学習に向かう姿勢) 知識の獲得に向かい、ときには自ら勉めて強いことができる生徒	
3 魅力化協働パートナー		いわて NPO-NET サポート、株式会社キャッセン大船渡、北里大学海洋学部、大船渡市商工会議者、他	
4 目 指 す 学 校 像	(1) 今年度の重点目標	重点目標	達成指標
		ア 主体的な学びの定着と ICT 有効活用による質の高い授業の実践を図る。(学力向上)	・授業外学習に一日平均2時間以上取り組む生徒の割合【50%以上】
		イ 学習と部活動等を支援し、文武一道を図り、充実した高校生活を体験させる。	・高校生活が充実(満足)していると答えた生徒の割合【90%以上】
		ウ 将来を見据えたキャリア教育を充実し、生徒の高い志(希望進路)の実現を図る。	・希望する進路目標を達成した生徒の割合【95%以上】
		エ 学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめの防止(適切な対処)	・いじめの未然防止の徹底と認知した場合のその解決の割合【90%以上】
		オ 互いに個性を尊重し、豊かな心を持つ自立した人間を育成する。	・交流活動、体験活動、探究活動、奉仕活動、地域貢献活動に参加した生徒の割合【30%以上】
	(2) 取組方針	ア 主体的な学びの定着と ICT 有効活用による質の高い授業の実践を図る。(学力向上) (7)生徒が主体的に学ぶ授業、ICT 有効活用による生徒が「わかる授業」の実践 (ｲ)授業と連動した家庭学習の定着 (ｳ)観点別評価の円滑な運用	
		イ 学習と部活動等の両立を支援し、文武一道を図り、充実した高校生活を体験させる。 (7)集中と転換による部活動や生徒会活動の推進 (ｲ)学習、部活動、課外活動での充実感を体感できるような支援	
		ウ 将来を見据えたキャリア教育を充実し、生徒の高い志(希望進路)の実現を図る。 (7)計画的・組織的なキャリア教育と「大船渡学」の推進 (ｲ)進学支援ネットワーク事業に連携する STEAM 教育の浸透と発展	
		エ 早期発見と解消に向けた適切な対処 (7)日常的な観察、面談、アンケート等による早期発見と積極的な認知 (ｲ)規範意識、情報モラル、他人に対する思いやり等の醸成によるいじめの未然防止	
オ 互いに個性を尊重し、豊かな心を持つ自立した人間を育成する。 (7)交流活動・体験活動・探究活動・奉仕活動・地域貢献活動等の奨励(復興教育の一助) (ｲ)読書活動の奨励 (ｳ)挨拶・礼法・整容の向上 (ｴ)心身ともに健康な生活を送る力の育成 (ｵ)防災安全・危機意識高揚(コロナウィルス等の感染拡大防止対応の継続)			

令和5年度 岩手県立大船渡高等（定時制）学校経営計画

		校長：熊 谷 賢 児	
1 校訓・教育目標		校 訓 『自主獨立』 自分の責任において自分の力と意思で物事を成すこと 教育目標 知・徳・体の調和のとれた人間形成を目指し、社会の変化に主体的に対応できる能力と国際的視野を持った人間の育成を期し、次の目標を定める。 1 真理を求め、自ら主体的に学ぶ姿勢を持つ青年の育成 2 互いに個性を尊重し、敬愛する心を持つ青年の育成 3 心身の調和がとれ、強くたくましい精神力と体力を持つ青年の育成	
2 ス ク ー ル ・ ポ リ シ ー	(1) 育成を目指す資質・能力に関する方針 (グラデュエーション・ポリシー)	1（主体性） 主体的に学ぶ意欲を持ち、自分らしさを生かすことができる力を育成します。 2（多様性の理解） 多くの体験・経験の中から、多様な価値観を理解できる力を育成します。 3（協調性） 自分と多様な他者とともに大切にできる協調性を育成します。 4（挑戦） 強い精神力と体力を有し、何事にもチャレンジする精神を育成します。 5（先見性・自立） 将来を見据え教養を身につけ、進路達成に向けて自立性を育成します。	
	(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	1（自己のペースで選択） 自己のペースに応じて3年間での卒業、または4年間での卒業を選択できます。 2（教育のユニバーサル化） 教育のユニバーサル化を充実させ、安心して安全な学習環境を提供します。 3（教育課程の特色） 学習の再出発に向け、学び直しの教科を設け、基礎基本の習得を大切にします。 4（定時制教育の特色） 復興教育を軸に教科横断的な学びを進め、学びのつながりと深化を図ります。 5（外部連携の充実） 外部連携により諸活動を充実させ、自己理解を深め、自己実現につなげます。	
	(3) 入学者の受け入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)	1（本校理解と意欲） 定時制の特色を理解し、本校の学びに主体的に取り組もうとする生徒 2（多様性の尊重・協調性） 多様な価値観と自他の人格を尊重し、仲間とともに集団生活を送ろうとする生徒 3（学びへの意欲・積極性） 学校生活・地域社会での諸活動など多くの活動に意欲的に取り組もうとする生徒 4（規範意識と健康） 学校や地域社会の一員として必要なルール、健康的な生活習慣を身につけようとする生徒 5（自己実現に向かう姿勢） 学校生活等諸活動から得たものを生かし将来の自己実現を真摯に考えようとする生徒	
3 魅力化協働パートナー		いわて NP0-NET サポート、株式会社キャッセン大船渡、北里大学海洋学部、大船渡市商工会議者、他	
4 目 指 す 学 校 像	(1) 今年度の重点目標	重点目標	達成指標
		ア 生徒が主体的に学ぶ授業、生徒が「わかる授業」の実践を図る。(ICT活用)	・授業がわかると答えた生徒の割合【80%以上】
		イ 個々の生徒に応じた進路指導、進学・就職対策の充実を図る。	・希望進路達成率【80%以上】
		ウ 互いに個性を尊重し、豊かな心を持つ自立した人間を育成する。	・交流活動、体験活動、探究活動、奉仕活動、地域貢献活動に参加した生徒の割合【80%以上】
		エ 学校いじめ対策組織の取組を中核としたいじめの防止（適切な対処）	・高校生活に満足(充実)していると答えた生徒の割合【80%以上】
	(2) 取組方針	ア 生徒が主体的に学ぶ授業、生徒が「わかる授業」の実践を図る。(ICT活用) (7)授業改善に向けた不断の取り組み、授業研究会の実施 (4)個々に応じた基礎・基本の定着に向けた取組み	
		イ 個々の生徒に応じた進路指導、進学・就職対策の充実を図る。 (7)キャリアガイダンスの充実、勤労観・職業観・人生観の育成（外部講師等の活用） (4)学業とアルバイトの両立を奨励、インターンシップの充実（就労体験）	
		ウ 互いに個性を尊重し、豊かな心を持つ自立した人間を育成する。 (7)交流活動・体験活動・奉仕活動・地域貢献活動等の奨励（他校地域との交流、復興教育） (4)読書活動の奨励 (5)挨拶・礼法・整容の向上 (6)スマホ等の適切な利用の啓発 (7)安全・健康教育・食育の充実（コロナウィルス等の感染拡大防止対応の継続）	
		エ 早期発見と解消に向けた適切な対処 (7)日常的な観察、面談、アンケート等による早期発見と積極的な認知 (4)規範意識、情報モラル、他人に対する思いやり等の醸成によるいじめの未然防止	